北海道コカ・コーラボトリング株式会社 [URL]

T004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号 [URL] http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/

2016年11月24日

報道関係 各位

飲酒運転根絶ポスターがまちを見守る

厚別警察署管内200台の自動販売機に飲酒運転根絶ポスターを掲示 ~札幌で初の取り組み!札幌厚別警察署との協働の取り組み~

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区 社長:佐々木康行)は、2016年11月28日、厚別警察署と協働して、飲酒運転根絶ポスターを厚別警察署管内の当社自動販売機200台に取り付ける掲示式を執り行います。



この活動は、道民一人ひとりが「飲酒運転をしない、させない、許さない」という規範意識を持ち、社会全体で飲酒運転を根絶すべく、道民や事業者に対しても、それぞれの責務を果たすことを求め、道民にとって安全で安心して暮らすことのできる社会が実現されることを目的として平成27年11月26日に制定された「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」により、当社と厚別警察署が協働で飲酒運転根絶啓発に取り組み、注意喚起するものです。また、この取り組みは札幌市内の警察署では初の取り組みです。なお、すでに北海道全域で同活動を進めており、約3,000台の当社自動販売機に飲酒運転根絶ポスターを掲示しています。

ポスターの掲示場所は、厚別警察署管内で人目に触れやすい場所(歓楽街・駐車場・公共施設など) に設置している当社 2 0 0 台の自動販売機へ掲示します。このたびの厚別警察署との協働は、市民への安全・安心に向けた啓発活動に加えて、地域の交通安全に対する取り組みを積極的に進めることで、更なる地域防犯力の強化を目指すものです。

つきましては、この活動に関わる掲示式を以下の日程で開催致しますので、何かとご多忙とは存じますが、何卒ご取材賜りますようよろしくお願いいたします。

■「飲酒運転根絶ポスター」 掲示式

・開催日時: 2016年11月28日(月) 14時00分より

・開催場所:新さっぽろサンピアザ1階「光の広場」(札幌市厚別区厚別中央2条5丁目)

•出席者名:厚別警察署長 村中 信行 様

当社 営業統括本部第二本部 地域連携担当部長 山野 正幸

・掲示期間: 2016年11月28日 より

く参考>

①防犯ほっとインフォメーション

当社は、北海道警察と連携し、地域の防犯意識を高め、安全・安心な地域づくりを目指すため、の全 69 所轄警察署と「電光掲示機能付自動販売機による協働事業に関する協定」を締結し、防犯広報、事件情報等の発信を行っています。具体的には、当社の電光掲示板付き災害対応型自動販売機」を活用した協働事業「防犯ほっとインフォメーション」を展開しております。北海道警察からの情報をリアルタイムで配信でき、警察署や往頭等、約 400 台が設置・運用されています。

防犯ほっとインフォメーション





②子どもの安全を見守る運動

「大人だけが子どもを守る事が出来る」というコンセプトのもとで、官民が一体となり「子どもを見守る運動」を推進することを提案し 2007 年に採択されました。この運動はさまざまな啓発要素を吸収し「安全・安心どさんご運動」に発展しました。当社グループでは全 1,200 台の車両にステッカー掲示するほか、通学見守りボランティアを通じて子どもたちの安全を見守っています。



③「いかのおすし」ポスター掲示

2014年1月に締結した北海道との包括連携協定の骨子のひとつ「安全・安心な 地域づくりに関する事項」に基づき、北海道とのタイアップ事業として、自動販売機 での防犯啓発ポスターを掲出しています。

この取組みは、「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議」で提唱されており、子どもが不審者と遭遇した場合の対処方法を分かりやすく表現した「いかのおすし」ポスターを作成し、生活に身近な自動販売機に掲出することで、児童に対し、より広く認知されることが期待できます。



④「飲酒運転根絶」ポスター掲示

北海道警察が平成27年11月26日に制定した「北海道飲酒重配の根絶に関する条例」により、北海道全域の警察署と連携して、飲酒重配根絶容発に取り組み、注意喚起するものです。現在、北海道全域で約3,000台の当社自動販売機に「飲酒重配根絶代スター」を掲示して、安全で安心して暮らすことのできる社会が実現されることを目的としています。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。